

平成29年2月28日

担当課	総務課
内 線	282
直 通	(0956) 47-2191
担当者	久田、石橋

長崎県立大学佐世保校キャンパス整備の設計業務
プロポーザルの最優秀提案者の特定等について

このことについて、平成29年2月26日のプロポーザル審査委員会において、下記のとおり最優秀提案者が特定され、併せて次点が選出されましたのでお知らせします。

今後、設計業務の契約締結に係る手続きを行い、3月中に契約を締結する予定です。

なお、最優秀者の技術提案書、本プロポーザルに関する議事録等については、後日大学のホームページで公表する予定です。

記

1. 最優秀提案者及び次点

○最優秀提案者 石本・建友社特定建設関連業務委託共同企業体

代表構成員 株式会社 石本建築事務所 九州支所

その他の構成員 株式会社 建友社設計

最優秀提案者の技術提案書に記載されたイメージ図(パース図)は別添1のとおり。

※あくまでイメージ図であり、実際のデザインとは異なります。

○次点 梓・三省設計共同企業体

代表構成員 株式会社 梓設計 九州支社

その他の構成員 株式会社 三省設計事務所

2. プロポーザルの審査について

別添2のとおり(審査結果、委員名簿、評価項目・配点、委員長講評)

3. 参考

今後のスケジュールは別添3のとおりです。



※あくまでイメージ図であり、実際のデザインとは異なります。

長崎県立大学佐世保校キャンパス整備に係る設計業務
におけるプロポーザルの審査結果

(1) プロポーザルの審査方法

プロポーザル審査委員会において、事前に定めた評価基準により、一次審査及び二次審査を実施し、最優秀提案者を特定し、併せて次点を選出。

- ・プロポーザル審査委員会名簿（別添2-1）
- ・一次審査（選定基準）及び二次審査（特定基準）の評価項目、配点（別添2-2）

(2) プロポーザルの経過等

- ① プロポーザル公告（参加者募集） : 平成28年11月22日
- ② 参加表明書の提出期限 : 平成28年12月16日
 - ・参加表明書提出者数 : 10者
- ③ 技術提案書提出要請 : 平成29年 1月11日
 - ・技術提案書の提出要請者数 : 5者
- ④ 技術提案書の提出期限 : 平成29年 2月17日
 - ・技術提案書提出者数 : 5者
- ⑤ 公開によるヒアリングの実施
及び最優秀提案者の特定 : 平成29年 2月26日

(3) プロポーザル審査委員会

- ① プロポーザル審査委員会（第1回）: 平成28年11月 2日
審査基準等の決定
- ② プロポーザル審査委員会（第2回）: 平成29年 1月10日
提出された参加表明書を審査し、技術提案書の提出者を選定。
- ③ プロポーザル審査委員会（第3回）: 平成29年 2月26日
提出された技術提案書について、公開ヒアリングのうえ審査を
実施し、最優秀提案者及び次点を選出。

(4) 審査結果

参加表明書の受付順	A者	C者	E者	F者	J者
一次審査 (満点300点)	225.3	268.7	263.6	257.3	253.4
一次審査 順位	5位	1位	2位	3位	4位
一次審査 結果	選定	選定	選定	選定	選定
二次審査 (満点700点) ※	475.6点	625.7点	444.7点	399.3点	425.7点
全体 (満点1,000点) ※	700.9点	894.4点	708.3点	656.6点	679.1点
全体順位	3位	1位	2位	5位	4位
審査結果		最優秀	次点		

※今回はC者とE者での決選投票の結果、C者に100点加算。

(5) 委員長講評

別添2-3

長崎県立大学佐世保校キャンパス整備に係る
設計プロポーザル審査委員名簿

委員会	氏名	所属
委員長	坂井 猛	九州大学 教授
委員	大場 光洋	長崎県 土木部 建築課長（参事監）
委員	小坂 哲也	長崎県 総務部 学事振興課長（参事監）
委員	柴田 久	福岡大学 教授
委員	百岳 敏晴	長崎県公立大学法人 専務理事
委員	古河 幹夫	長崎県立大学 副学長
委員	安武 敦子	長崎大学 准教授

委員長以外は五十音順・敬称略

■一次審査（選定基準）： 評価項目及び配点

評価項目		評価事項	配点
① 事務所の体制、実績	組織体制、業務実績 (基礎的審査)	有資格者数、業務実績数を評価	50点
② 担当チームの経験等	管理、主任技術者 (基礎的審査)	管理、主任技術者の経験年数、業務実績数、受賞歴件数を評価	50点
③ 同種・類似業務等の実績	同種・類似業務等の実績 (専門的審査)	設計理念に基づく業務の成果は優れているかを評価	30点
④ 事務所の実績	事務所の実績 (専門的審査)	設計理念に基づく業務の成果は優れているかを評価	20点
⑤ 業務の実施方針	業務の実施方針 (専門的審査)	長崎県立大学佐世保校キャンパス整備に関する考え方を評価	100点
		業務実施のための組織体制を総合的に評価	25点
		手持設計量も勘案し、作業スケジュールを総合的に評価	25点
評価点の合計（一次審査）			300点

■二次審査（特定基準）： 評価項目及び配点

評価項目		評価事項	配点
見積書 (客観的審査)	見積書	本設計業務を実施するうえでの見積額の多寡を評価	50点
特定テーマ (専門的審査)	① キャンパス整備基本構想の基本理念に基づく考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容の独創性、独自性や魅力 ・所定の施設計画としての妥当性、現実性、技術的信頼性など (提案者の企画力、技術力、デザイン力を総合的に評価)	100点
	② 教育環境についての考え方		100点
	③ 建替え・ローリング計画についての考え方		100点
	④ 地域との関係性(ソフト的要素含む)についての考え方		100点
	⑤-1 建設コストの低減についての考え方		50点
	⑤-2 環境配慮やライフサイクルコストの低減についての考え方		100点
評価点の合計（二次審査）			600点
			(決選投票を行う場合) 100点 (700点)
一次審査と二次審査の評価点の合計（プロポーザル評価）			900点
			(決選投票を行う場合) (1,000点)

※一次審査と二次審査の評価点の合計において、1位の者と2位の者の点数差が僅差の場合（100点未満）は、決選投票により、最優秀者及び次点を決定する。

委員長講評

(審査経過及び結果)

1. プロポーザルの技術提案書提出者5者に対し、ヒアリング（10分のプレゼンテーション及び15分の質疑応答）を実施した。
2. 技術提案書の内容及びヒアリングを踏まえ、専門的立場から審査基準に基づき審査を行い、最優秀提案者を特定し、併せて次点も選出した。
3. プロポーザル方式は、提案書の提出者（人）を選ぶものであることから、具体的な設計については、提案書をもとに発注者との調整を十分に行ったうえで進めていただきたい。

(講評)

- 石本・建友社特定建設関連業務委託共同企業体（最優秀提案者）
 - ・中央部のグリーンコモン（広場）に面して自学習スペースや食堂を配置し光と緑を感じられる空間を創出している。
 - ・正面に建設中の佐世保市相浦複合施設に面し周辺住民も入りやすいゲートプラザを設置し、地域との共生を図っている。
 - ・従来の校舎イメージを刷新しながらも、周辺の眺望や佐世保の近代化産業遺産に配慮してキャンパスデザインをまとめている。
 - ・来校者にも判りやすく、かつ全体を見渡せる管理部門の配置としている。
 - ・既存施設との接続や、遠い将来の既存施設建替えも配慮した計画としている。

- 梓・三省設計共同企業体（次点）
 - ・文化祭や地域開放にも有効なスケール感のある広場を配置している。
 - ・地域に対して存在感のあるファサードをつくりだしつつ、周辺の眺望にも配慮した計画としている。
 - ・広場に面したアクティブラーニング部門をキャンパスのシンボリックに扱い、図書館に隣接して交流棟を配置するなど、既存施設との連携を図っている。

最優秀提案者及び次点以外の3者の提案も、長崎県立大学佐世保校キャンパス整備に対する設計者の考え方が結集されたレベルの高いものであった。本プロポーザルに参加され、貴重な時間を費やし真摯にご努力をいただいた技術提案者に対し心より感謝申し上げます。

今後のスケジュール

本日特定された最優秀提案者と、契約に向けての手続き後、平成29年3月に設計業務の委託契約を締結する予定とし、設計業務を平成30年9月末までに完了する予定です。

その後、建設工事に着工し、平成36年度までの完成を目指しています。

・設計業務及び建設工事のスケジュール

区分	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
設計業務	●————● (約1年6ヶ月)							
建設工事 (発注手続きを含む)		●————●						●